

～ 受賞のお知らせ ～

- 島根県在宅保健師等の会「ばたんの会」

平成29年8月29日

第69回保健文化賞

（保健衛生及び関連する福祉等の分野で尽力されている団体・個人に対する賞）

主催：第一生命保険株式会社

- 静岡県在宅保健師の会「つつじ会」

平成29年11月13日

第6回健康寿命をのばそう！アワード

厚生労働省健康局長 優良賞 団体部門

（健康増進・生活習慣病予防への貢献に資する優れた啓発・取組活動に対する賞）

主催：厚生労働省（スマート・ライフ・プロジェクト）

島根県在宅保健師等の会「ぼたんの会」

- 島根県在宅保健師等の会「ぼたんの会」 会長 木村 久美子 氏
- 第69回保健文化賞受賞

受賞内容

中高年を対象とした介護予防活動、難病患者・家族会支援、精神障がい者等への訪問・相談、認知症予防活動、健康劇の上演など、地域に根ざした継続的な保健予防活動

受賞理由

豊富な経験を有する保健師等による精神障がい者や難病患者等への訪問活動による地域の見守り体制づくりや、免疫力を高める体操の取組による中高年の身体づくりなど、地域に根ざした保健予防活動を基盤とし、継続的な住民の心と体の健康づくりに貢献していることが評価された。

活動内容

高齢者の健康づくり、介護予防、生きがいづくり活動

認知症予防・啓発活動



サロン活動



ゴムバンド体操教室

活動回数は年間で約1,200回を超えています！



紙芝居を活用した認知症予防・啓発活動



命の貯蓄体操

活動内容

高齢者や精神障がい者等への訪問・相談活動

難病患者・家族会支援

オリジナル健康劇「ぼたん座」の上演

高齢者等へのきめ細やかな
訪問活動は、地域の見守り
体制づくりに繋がりました



「ぼたん座」上演 テーマ：尿漏予防



難病患者支援
(バラ園でのお茶会でハーモニカ演奏)



保健文化賞贈呈式
厚生労働省健康局長から木村会長へ表彰状贈呈



溝口知事（写真中央）に受賞報告



知事に受賞の喜びを語る、木村会長（写真奥左）、
大家副会長（写真奥中央）、妹尾監事（写真奥右）

ひとこと

今日までご指導、ご支援を賜りました島根県、市町村、島根県国民健康保険団体連合会をはじめ関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

先輩保健師から受け継いだ、島根の公衆衛生・看護を基盤とした住民の心と身体健康づくりを継続的に行ってきたことが評価され、大変光栄です。

栄えある保健文化賞受賞を励みに、関係団体と連携を図り、県民の皆様の健康長寿を目指し、地域に根ざした保健活動により一層取り組んで参ります。

静岡県在宅保健師の会「つつじ会」

- 静岡県在宅保健師の会「つつじ会」 会長 鈴木 富士子 氏
- 第6回健康寿命をのばそう！アワード
厚生労働省健康局長 優良賞 団体部門

受賞内容

特定健診・特定保健指導支援事業
「特定健診受診者のフォローアップ等家庭訪問事業」

受賞理由

国民健康保険加入者の生活習慣病の発症予防、重症化予防を目的として長年にわたり、県内市町で家庭訪問による助言・指導を展開し、健康寿命の延伸に寄与したこと。また、本事業の今後の全国的な展開の可能性や波及効果、さらに対象者に対する愛情の有る事業として評価された。

活動内容



プロジェクト 特定健診・特定保健指導支援事業
「特定健診受診者のフォローアップ等家庭訪問事業」

受賞者 静岡県在宅保健師の会「つつじ会」

所在地 〒420-0823 静岡県静岡市葵区春日2丁目1番27号

電話 054-253-5576

URL <http://www.shizukokuhoren.or.jp>

E-mail jigyo@shizukokuhoren.or.jp

取組・事業の概要と特徴

在宅保健師の経験を活かした家庭訪問による重症化予防の取組み

静岡県在宅保健師の会「つつじ会」では、直接足をはこび、住民が置かれた生活実態や意識を踏まえた訪問事業を大切にしており、寝たきり予防など時代背景に即した家庭訪問を平成6年から23年間で延べ1万4,516名に行ってきました。

平成27年度からは、国保保険者が実施した特定健康診査の結果、受診勧奨判定値を超えたにもかかわらず医療機関を受診していない者に対して「かかりつけ医」への受診勧奨や生活習慣の改善に向けた助言を行うことで、生活習慣病の発症及び重症化予防を目的とした家庭訪問を実施しています。

2年間で378名に家庭訪問を行い、健診結果を正しく理解していただき、自分に起こっている体の変化に気付いていただくことで、約半数の方が受診行動に繋がっています。

今後も、本会では訪問事業を継続し、個人から集団、地域全体へと健康で長寿なまちづくりに貢献していきます。





アワード受賞式



厚生労働省 健康局長と記念撮影



静岡県庁へ受賞報告



理事長(袋井市長)へ受賞報告



訪問事業報告会の様子



山間部の訪問風景(つつじ会初代会長:松下とき子さん)

ひとこと

- 今回の授賞は、在宅保健師が行う地道な家庭訪問事業に一筋の光が差し込んだように思いました。対象者一人ひとりの生活する場に直接出向く家庭訪問は、保健師の予防活動の原点だとあらためて実感しました。
- 家庭訪問を行うことで、データの向こう側にある生活の実態が明らかになり、その人やその地域で今、何が起きているのか、そして、保健師として先ず何をしなければならないのか、保健活動の「優先順位」が明確になります。
- 「あなたに会えてよかった。呼び出されて言うことではないけど、来てくれたから本当の胸の内を話します。」「保健師さんが、私達一人ひとりを大切にしてくれたから静岡県の健康寿命がトップクラスになったんですね！」等々、対象者の生の声から、住民と行政との隙間を埋める在宅保健師の役割を実感します。
住民、行政(保健師を含む)、在宅保健師の3者が協働して重症化予防に取り組む重要性がわかりました。
- 予防可能な病気で住民を倒れさせない！死なせない！との思いを強くし、平成6年度から実施している家庭訪問事業を今後も大切に行ってまいります。